（日刊）月曜祭日之翌日休刊　新　明治四十四年六月十八日（日曜日）　第七百七號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

發行所　京城　京城新報社
仁川支局
東京市京橋區[illegible]町七番地　東京支局

●東京たより

◎濟生會の規則も[illegible]どのことに候へば、施療救濟事業の實[illegible]勞者の細民、貧民も之によりて[illegible]恩寵下の雨露の御恩に沐浴し、御仁[illegible]傷に窮りなき感泣致すべきは勿論の義に御座候。

◎之に就きても尤も大切なるは實際に細民貧民の施療に從事すべき醫師の心得に候。例令濟生會が數千萬圓の資財を積みても全國に亘る幾十百萬の無告の窮民に對し、施藥救療の實を給するに於て、敢て遜色なき迄に至るも實際窮困者の取扱振りに於て、萬一にも粗漏不親切に傾くが如きことあらんには、[illegible]聖恩に對して相濟まさ[illegible]の成效を見ること難くして、全く濟生會設立の旨目的と相容れざる事と相成るべく候。濟生會が最も注意すべきは此に在りと存じ候。

◎學問も文章も商品と成り果てゝ、學問の切賣り文章の捨賣りすら行はるゝ今の世に當りて、獨り醫師のみに向ひて、金錢に淡泊なれと希望するは頗る酷なるやうに候へども、古へより『醫は仁術』なりとさへ申し傳へられ、人間の生命を預るべき大切なる職務なれば他の職業とは自から其趣を異にして、一意他念なく其職務に忠實なるべき筈に候、況んや一方には『先生』の尊稱を受け、他面には『藥九層倍』の利益を享くるといふ名譽と實益を壟有する甘き商賣は他に見る可らざるものに候へば此名譽と實益との爲にも、醫師たらん程のものは國家と社會とに盡すの義務を有し居る義に御座候。

◎然るに地方にては篤實の風醫師間に存じをることゝ思はれ候へども、都會に於ける多くの醫師は、先づ病者の懐ろを窺ひたる上ならでは容易に治療を施さんと云ふが如き惡習あり、夜中急病患者への往診の如きも拒絶する場合多く、已むなくんば五十錢の車賃の氣安めに代診生を見舞はしめるが如き、其他不親切の事に候はずや、京城の如きは如何に候哉斯る事無くんば幸ひに有之候。

◎濟生會は當然施療券を發して、遍ねく貧病者に施療に從事する由なれば[illegible]醫師に對しては相當の[illegible]可しと雖も、之れと[illegible]程度に於て實費を支拂[illegible]以て、金錢のみを眼[illegible]として餘り餘有き仕[illegible]て患者の取扱ひに粗[illegible]不親切の所行なきを期し難し、之に對する適當の監督とも必要とせざる可からざれど、第一には醫師が其職業に省みて此際公德心を提起するの心掛こそ肝要の事に存候（東京支局癡生）

外事一束

●釜山煙草の販路

前に東亞、英米等の大敵を控へ背後に地方民製煙種の競爭ありて爲に商勢利あらざるや久しかりし釜山煙草株式會社は本年に入り稍快復の兆を現はし其販路の如き昨年に比し約三割の激增を來し京釜、京義兩線各沿道より遠く大連方面に迄販路を擴張せるが今回會社の主として製造しつゝある種類如何を見るに日本人向としては釜山を第一とし初雪之に亞ぎ玉緒、高歲の兩種は日鮮人兩用向として製造しつゝあり其他小鵝、太陽等其種別十數種に涉り日々の製造高平均一ヶ月三十万に上り職工全員三百餘人を使役し居れりと云ふ

●慶北の煙草作況

大邱附近の煙草耕作者は昨年より今年は增殖する豫想にて大に其準備をなしたるが最初苗圃中多少の病に罹りたるため充分豫想通りの耕作をなす能はずして矢張り例年と同じ位の耕作面積なれど目下は發育頗る良好にして少しも病氣等の兆候なく目下平均三寸乃至四寸位に成育しつゝあり然して本年の收穫豫想は例年に比し寧ろ善良なる見込なりといふ

●多望なる南川驛

京義線南川驛は黃海道平山郡の中央に位し其四方に新溪、谷山、江原道伊川、鐵川、溫泉院、白川、兎山等の定期開市場にして生產物饒多なる地を控へ是等各地へ通ずる中心點に當り而かも南北は汽車便によるの自由あれば自然貨物集散地となり現今は益々發展し現住人口日鮮人を合して九百餘人警察署あり物產は

[illegible]般類葉煙草麻生牛皮新挽陶器果實等にして其年產額約二十萬圓に上り之れが取扱は多く邦人商家の手により驛前中津留豐山二商店は其大なるものにして旅館料理店雜貨店等本邦人は金融機關としては鐵道局の承認を受け中津留商店に於て貨主の便宜上荷爲替取組を開始しをれり而して通信機關としては停車場に於て公衆電報を取扱ふの外便宜上郵便物の差立到着等をも取扱ふをれるが同地發展に伴ひ特定の郵便取扱所の設置を必要とし在住本邦人中其筋へ出願の手續中也と與京義線改築工事終了後鐵道當局者に於て同地の水質良好なると龍山平壤間の中央なるとにより機關車の吸水交換及機關庫所在地として此地を撰ばんかとの風說さへあり旁々活氣を添へ本邦人の居を占むるもの日一日多きを加へたりと云ふ

●蔚山に輕便鐵道布設

韓國瓦斯電氣株式會社は東萊の輕便鐵道との連絡上之を延長して慶南蔚山に至る十三里の間に輕便鐵道布設の計畫あり既に其筋に對して布設權の認可を申請したる由なるが蔚山附近の日鮮人に於ても該地の發達上熱心なる希望を爲しつゝありと



●古記錄圖書の引繼

前宮內府奎章閣の古記錄圖書は總督府取調局に於て引繼きをなすべき事に決したるに餘程以前の事なりしが過般來其搬出に着手せるところ前日悉く終了し取調局に於ては其附屬たる光化門附近の宗親府書庫へ收藏したるが爰には日々取調局より掛員兩三名出勤し居れり

●京釜線倭館近況

倭館青年會は去る三月設立事務所を松原氏別宅へ置き爾來月二回開會し名譽會員諸氏の講話會員の問答演說等ありて會員の風儀上非常なる好結果を得つゝあり會員は每夜八時より事務所へ集り席へ附の新聞雜誌等を見て樂みをれり▲穀物は收穫期に入りしと一面水の少きため出船なく且つ荷主の賣りをしみのために依り本月一日より昨十三日迄の總出穀は五千四百三十九叺、少數にして直段

[illegible]は昨日出來上々玄米十二圓六十六錢中並十二圓三十錢下十二圓十錢大豆は七圓四十錢見當にて出來せしが是等は昔京城行に手合ありし者なり殊に昨今京鐵精米組合より店員一名派し前記の直段にて買付居りて市場は活氣を呈し居れり

●閑人語

漫筆　碧生投

◎天人兒子六月十六日附發行の京城新報第一面欄『風行鐘』劈頭筆を『總督の學校巡視、吾輩以て近來の會心事と做す然り欣々然々の會心事也』と云ふに起し其の之れを以て欣々然々の會心事を做す理由として『半島開發現下の緊急が物質的方面に着々の効を致すに反し精神界に對する爲政當局の態度些か閑却、輕視の傾あり吾輩として他年の映禍、或は此に胚胎し來るなきやと幾れしめたる時に衝り總督が此擧あるに會す』此れ以て吾輩の會心事と做す所以なり』とせり。

◎余敢て辨を好まず、他の論に異を挾むに至つては之れを厭ふもの也、然りながら其の思ふ所が他の遵ふ所と甚だしき軒輊あるを知りては自らの思ふ所を展べて他の誨を乞ふの賢を擧ばんと欲することあるなり、玆に辭を試す又其意味に外ならず。

◎高位顯官に否大人に輕く見らるゝか學校に高位顯官の親を抂ぐるに依りて生ずる利害に二あり、一は父兄をして小學教育の忽にすべからざるを知らしめ、二は職員をして其の職務の卑からざるを自覺せしむることを是れなり、其に大なる利益なり。

◎併し乍ら只夫れ丈のみならば兒童の量見にのりをせずして行ひ得べし、三日も四日も前より總督來、々々々を叫んで兒童を乾物の如くシャチコバラするに當らじ、天人兒子は云ふ或る校長は之れが爲め倉皐兒童に閣下、令夫人令孃、令息等の語を覺へよと强ゐたりと、果して眞か、然らば余は其の校長の迂を見ずして從來高官巡視の式禮に泥むの弊と見んな。

◎高位の人にして小學校に臨む要は實際兒童教養の實狀を見んとてなるべし然らばテク／＼平日を定めずして之れを驗るべし、拍子木を叩いて泥棒に注意を與ふる火の番人を學ぶべからず。

◎小學生徒の厭ふものは雨天と訓示なり共に靜座を餘儀なくせらるればなり而して訓示は先生が御客様が見へになると說く御馳走にお出しになるなり坊には食へぬ御馳走のお伴食、小學生徒はお客様が嫌ひなり、高位顯官者流の公式訪問は小學校には禁物なり。

◎余は然く思ず、併し意を歪く小學教育に置かざるものは論外なり。

俳句

◎時事俳評　多田千春

△總督の學校巡視
大伽藍風薫しかに當りけり

△併合の論功行賞
涼しさはどちらにもあり月と水

△取引所の認可難
雲一朶峯に動かぬ暑さかな

△警察內地巡禮日記
握り飯の中に梅あり夏の旅

△京城藝妓の半生
伉儷の噂さに更けて門納涼



召使れ初

第八十回　黒法師

「おゝ、鶴兵衛か、不在中參つて、殊の外雜作になつた、寧ろ閑、好い時候になつたのう」と相生は何氣なき挨拶なりき

「折悪く他行、どんと失禮して居ります、今日はお宿下り、一日御保養と申すこと、御緩々と遊ばしませ、何は無くとも勘三郎座役者ども招き、面白い芝居にてもお目に掛けまする」

當時奥女中唯一の娛樂は宿下りの半日を歌舞伎芝居見物に費して、目と心の保養するにありき、實に奥女中の心を取り止むるは、芝居藝題の外になく奥女中は歌舞伎役者花主の隨一にして出入御用聞の町人はその間に入りて双方を結び付くる媒介者なりき

鶴右衛門はその呼吸を知るが爲め、時には人に依つて芝居見物を香餌にする事ありき

「いやの、今日は左樣も居られぬでの」と相生は何時になく辭退しつ「衣の御馳走に預して置かうわの」

「お急ぎと見ねまする」

「淨野樣御用のあるで、後れぬ中にお城へ歸らうと思ふわの」

「お忙しいでござりまするな、然し淨野樣御無事、あなた樣お障りもなう、此樣なお芽出度いことござりませぬ」

「お道どのもお達者ちや、托言ないか」

「あなた樣へ斯樣な事お願ひしては、眞に恐れ多い事でござりまするが、それではお詞に甘へ只一言お傳へを願ふでござります」

「易いことちやわの、什麼なりともお傳へ申さうわの」

「他ではござりませぬが、私今日宿內向のことでござりまして、上野まで參つた途中佐十郎樣お目にかゝりましてな」

「佐十郎樣はの」

「あなた樣御存じござりませぬ、これや不調法」と鶴兵衛は頭を抱へて「佐十郎樣はお道どの御舍兄でござります」

「おゝ、御兄弟、その佐十郎樣どうなされた」

「今度さるお方御推擧に因つて、周防守樣の御師範役にお召し抱へあらせられた氣でござりまする最もまだお目見得なされたではござりませぬが、御知行は百五十石、番頭格にお定りと申すこと、御兄妹同じお屋敷に御奉公遊ばすも前世から深い因緣ある事と推量も致しまするで、其事お聞かせござりましたら、お道ぞのまで御安堵、蔭ながらお歡び申し上げあるでござります」

「そゝや芽出度い、新奇お召抱え、御知行百五十石、番頭格御師範番仰せ付け、よく／＼好いお手蔓あらせられたと見ねまする」

「誰方御推擧かは存じませぬが、これで正木樣お家も大盤石でござります」と鶴兵衛は我身に關はる事の如く歡び

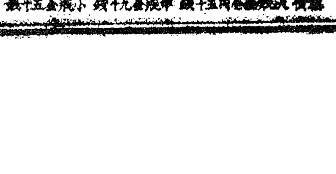
「お道どのまだ御存じはあるまいと存じまするで、此儀ちよと傳言、幾重にもお願ひ申し上げ置くでござります」と鶴兵衛は此事を繰返し／＼物語り

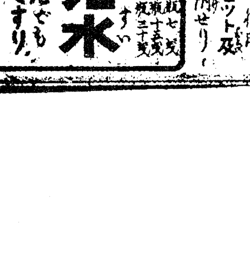
「うれにしてから、まだお早うもござりまするで御緩々遊ばしませ、只今お茶にても參らせまする」

鶴兵衛が次へ退りし時鶴右衛門は例の一通を認めて出で來りぬ、何事を認めたるかは知らず、密と相生の前に置き、

「これに私の心中認めあるでござります、お道どのへお手渡し願ひます」

「万事心得てあるわの」と相生は手早く受けて、內懐へ藏めたり





時間表
[illegible]

京城新報

府を獨立せしめよ

現今、朝鮮の地方行政區劃により、府の名目を附せられし地は、京城、仁川、釜山、大邱、平壤、義州、元山、淸津、馬山、木浦、群山、鎭南浦の十二ヶ所にして、是等各府の位置に見るに、地方の中心にあらざるはなく、[illegible]交通上の咽喉を占めざるはなく、全つて地方の首都の地位を占め[illegible]上至大の勢力を有せざることは、吾人此に殊々しく絮說するを要せざる所なり、而して其中かも此十一府何れも內地人民の[illegible]に包擁して、彼等活動の淵源なるの觀あるのみならず、內地人事業資本の殆んど全部を此地に集中し、將來其擴張力に於て最も優越の地位に立てるの事實は、何人も之を否認する能はざるなり、故に府の一張一弛一動一休は半島統治にとつて至大の影響を及ぼすものなるを思はざる可からず、爲政者たるもの豈に着眼して府行政の進捗なきを期し、府をして益々半島發達の典型たらしむることを獎勵せずして可ならむや、吾人は之を以て府行政の要綱なりとす、然るに我總督府の地方官制を見るに、府と郡とを同一に看做し、等しく道の管轄下に置き、府尹郡守共に道長官の指揮監督を受け行政事務を處理すべく[illegible]これ府行政の簡便と敏捷を[illegible]府民をして幸福を享受せしむ[illegible]吾人は遺憾ながら之を是認する能はざるなり、寧ろ今に於て該官制を改正し、府を道の管轄より分離し、獨立の行政機關とし總督府直接に之を監督するを以て今より一層の好成績を擧げ得べしと信ず。

何故に府を獨立となすの必要ありや[illegible]

東京電報（十七日發）

▲京奉鐵道問題の進捗

目下北京に於て交渉中なる京奉鐵道に奉天引込線問題は其の後順調に進捗し北京政府に於ても大体我主張を認め、遠く細目の協議を爲し圓滿なる解決を告ぐるに至るべし

▲拓殖局附屬事業

拓殖局にては其設置當時より附屬事業として殖民圖書館殖民學校殖民博物館等の設立計劃なりしが經費の都合により學校設立は未だ着手せざるも博物館に至つては各殖民地に對し其材料の蒐集方を依賴し現に到着し現に各殖民地より集りたる材料多ければ經費の都合にて陳列場を建設し一般の縱覽に供す可しと

▲日露鐵道連絡會議

日露鐵道連絡會議は曩に滿州地方に於て黑死病流行蔓延猖獗なりしを以て該會議は延期せられ居りしが次回東京に於て開催せらるゝ事に決定し居るも今の處其會議期日は未定なり露國側委員としては東淸鐵道副總裁來朝すべし

▲內閣交迭期豫測

西園寺侯が精養軒に於ける演說の通り一身を犧牲にして時勢を救ふの熱心ある[illegible]にして時至り機熟するに於ては[illegible]を卒いて內閣を組織せ[illegible]と雖も今公侯の意中を[illegible]侯が衆議院に絕對的多數を[illegible]貴族院に於て同樣の[illegible]直に其衝に當て大局を[illegible]するは疑ふ可からず[illegible]兩者が多く便宜を執ら[illegible]交迭の時機は貴族院議員[illegible]に默認する所にして要[illegible]貴族院議員改選の[illegible]

▲四國借款と賣出

淸國の四國借款の內六千萬圓は十五日より英米獨佛にて各一千五百萬圓宛の賣出しを開始したるが紐育にては非常に好景氣にて七弗半のプレミヤムを附しあり

▲大島男の後任

樞密院顧問官故大島圭介氏の後任には井上勝之助氏最も呼聲高し

▲土匪討伐行賞

臺灣土匪討伐に從事せし武官に對する論功行賞は將校百三十名下士卒二千五十九人十六日發表せられたり

▲英帝に勳章贈呈

[illegible]英國皇帝陛下に[illegible]頸飾章は伏見宮殿下御携帶[illegible]戴冠式[illegible]

▲宮中席次變更

[illegible]する論功行賞の結果[illegible]異動あり[illegible]押したる陸軍中將松永正敏氏並に總督府取調局長官石塚英藏氏は從一位の次に席次を定められたり

[illegible]

▲濟生會寄附非難

濟生會にて[illegible]公言せしたるにも拘らず官吏富豪に寄附を[illegible]各所屬長官及監督者を[illegible]之と同等の地位に在る[illegible]府縣費より俸給を[illegible]

雜報

●鐵道運輸狀況

六月一日より十日に至る旬報に依れば京釜線に於ける乘車人員昨年に比し五千四百五十六人京義線は四千〇七十九人の增加を見たるも發送貨物斤量は兩線に於て一萬五千三百六十餘斤の減少を來たせしも收入は兩線の客車貨車を合して二万九百十六圓の增加ありたり

●未墾地貸付成績

未墾地利用法を發布したるは去る明治四十年九月十五日にして爾來今日まで貸下を許可したる未墾地の面積は約一万五千町步なるが日尙は淺きを以て其成績を擧ぐるの時機に達せざれども畓となすの目的を以て貸下げたる分は未だ何等の成功を見ざるも小部分の殖樹事業は稍見るべきものありと云ふ

●未墾地の調査

農商工部農務課にては近日黃海道載寧江流域に於ける未墾地約一萬二千町步を調査の筈にて數班の調査員を派遣すべく目下準備中なりと云ふ因みに全道に於ける未調査の未墾地は百二十萬町步なりと

●商工調査の進步

昨年來農商工部にて着手したる全國の商工調査は其後著々進捗し既に調査濟の[illegible]

●改修道路成績

朝鮮總督府土木課直轄の道路改修工事は[illegible]四月末日に於て[illegible]二町中竣工せしも[illegible]なりと云ふ

[illegible]道の一部咸鏡南道の一部等なるが近日平安北道殊に本年度豫定にて終了すべしと

●總督學校巡視

寺內總督は十七日午前七時宇佐美長官關屋學務局長中山武官、藤田副官等を從へ京城高等學校に至り校長室にて暫時休憩の後各敎室寄宿舍附屬普通學校等を普ねく視察し生徒一同に訓示の上更に職員に對して懇篤なる訓諭をなし十時半更に京城高等女學校に向ひたるが同校にては恰かも生徒の學藝會及生徒成績品の展覽會を催ふし居りしかば總督は親しく各成績品等を閱覽し尙生徒の日本語の談話及唱歌等を聽取したる上歸邸せり

●總督と軍人會

寺內總督には十八日午後一時より景福宮勤政殿に於て開催する京城在鄕軍人會支部並に分會の發會式に臨場し一場の訓示を與ふべき筈なり

●京城の金融狀況

京城日本人商業會議所調査に係る五月中に於ける京城金融狀況を聞くに同月中當地の金融界は資金回收勝の狀態に在りて漸次緩漫の傾向をなしつゝありと雖も棉布の如き相當の取引なしと同時に大豆の昂騰旁市場に活氣を與へ旁々資金の需要を喚起したるにより一時好況を呈せりと雖も一面恩賜公債の資金約三百萬圓以上に達したりと云ひ亦た母國資金の流入夥しきを以て貸金業者及各銀行等に遊金多き有樣にて大勢は依然閑散の狀態を脫する能はず金利は如上の關係上幾分弱昧の方なりき而して同月末に於ける日本人側及朝鮮人側金融狀況を記せば左の如し

▲日本側三銀行

預金	七〇七、四八〇圓
前月比增額	二五四、三八五
貸金	三、七一五、七四五
前月比減	八七、九六三

△金銀出納高

出金	一七、八六七、五五五圓
前月比減	三七五、八二二
入金	一八、〇四〇、五一六
前月比減	一六二、三五二

▲朝鮮側五銀行

預金	六、二七八、一六〇圓
前月比增	一、五八六、三四一
貸金	五、六一五、九六九
前月比增	二七六、〇九一

△金銀出納高

出金	三八、四一九、七七六圓
前月比增	三、三四三、九五二
入金	三八、二五〇、八六八
前月比增	三、〇二七、五七四

●全道の府郡面

總督府調査に係る本月十五日現在朝鮮全道の府郡面數を聞くに十二府三百十七郡四千二百五十一面なり

●京龍の出生死亡

京城民團の調査にかゝる去五月中京龍間に於ける出生及び死亡數は左の如し

	京城	龍山	計
出生	六四人	二〇人	八四
死亡	五三人	十人	六三
死產	十七人	二人	一九

●間島の漁況

全南智島郡智島附近に於ける漁況は既に漁期及五月十一日より同二十日に至る第三潮時を經過したるを以て取締のため該地へ出張し居りし警官等は五月二十五日を以て引き揚げたるが本漁期間に於ける漁獲高は十万九千餘圓にして昨年に比して四月十一日より二十日に至る一潮時に於て風波荒く出漁不可能なりしため約二萬圓の減收を見たり而して內地漁船の漁獲高は其六分五厘也と尤も此漁期に當り無賴の徒漁業地に入込み賭博を開張し或は金錢を强請するもの尠なからざりしが本年は警官の派遣をなせしため被害も尠なく漁夫の紛爭も少なかりしと云ふ

●京城授產場の近況

十六日李王妃殿下の臨場あり又寺內總督柴田總務長官等も親しく觀察されたる京城授產場の近況を聞くに目下飼育中なる蠶兒は本日頃より蔟し始むべくして產繭は約十三四石を得る豫定也と云ふ而して當時の官費授產生は五十名にて他に自費見習の內地人二名鮮人八名なりと云ふ

●總督府醫院增築

總督府醫院は昨今入院及外來患者非常に增加したるため病室其他に手狹を感ずるを以て本年度に於て病室の增築看護婦宿舍の新營等既に起工し遠からず竣工すべく更に明年度事業として外科病室其他の增築を要するものあり目下夫々設計中なりと云ふ

▲人さまざま▼（五十五）

菊池謙讓君

本名謙讓よりは雅號長風で良く通つた君は過去二十年間當地名物男の一人であつた、君身長四尺五寸並外れての矮軀だ、併し諺に小男に小荷物なしと云へるが如く君の膽は君の躰軀に比し頗る大なるものであつて彼の岡本柳之介の罷と共に三尺の長劍を提げて立つた事實などは良く其消息を證據立つるものである。淡城、京城、新聞紙を有すること幾年、而かも執筆者として亦た新聞記者として君は僅かに當地新聞界の元老と稱さるべき一人であつて、世人も僅かに如かく認めて居るのだ。君感ずるところあり、紛々擾々たる京城言論界を去り今は閑雲野鶴大邱民長となつて悠々自適して居られる。

●高女補修科開始

京城民團立高等女學校には去四月より補修科を新設すべく三月中道廳に認可稟請の手續を取運びたるに爾來三箇月餘何等の音沙汰なく既に開設の時機を失し民團理事者に於ても大に當惑し居りたるところ頃ろ六月二日付の認可指令は同十四日到達せしを以て愈々補修科開設すべき事となり昨今入學生募集中に屬し右は三十名を限り來二十五日迄の期限にして人員は三十名なるが來七月一日より授業開始の豫定なりと

●京畿道一部旱魃

京畿道高陽江華二郡に於ては客月來の旱魃にて麥其他畑作物は殆んど枯死の情態に瀕し目下插秧期なるも渴水のため移植する能はず農民は大に憂慮し居れり此先一週間以上降雨なくば一般經濟界に及ぼす影響少なからずと

●大田連山間開通

三南線工事進捗に就ては去る九日大屋鐵道局長官が村瀨副參事有田參事補を隨へ大田連山間二十四哩竣成區域視察の結果愈々來る七月一日迄に營業課に引次ぎ豫定の通り今日より營業開始す

●滿鐵管內生徒數

沿線各小學校及び分數場生徒五月末現在數左の如し

	尋常科 男	尋常科 女	尋常科 計	高等科 男	高等科 女	高等科 計
瓦房店	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
熊岳城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大石橋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遼陽	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奉天	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
本溪湖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
橋頭	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
草河口	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鷄冠山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
昌圖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
公主嶺	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四平街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長春	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
撫順	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
前月に比 增減	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●全羅北道內の停車場

全羅北道管內に於ける湖南線及び支線の停車場は總數十一にして順序を追つて列記すれば江景、龍安、黃登(裡里)、裡里、(參禮)、金堤(金堤郡)金堤を去る東約一哩)泰仁、井邑(井邑を去る西約一哩)にして直ちに全南茂長郡に走るべく裡里分岐の群山支線は臨陂(臨陂郡)地境(同郡)を經て群山に達すといふ

●林籍地圖の刷了期

昨年農商工部山林課にて調査せし朝鮮全道の林籍地圖は既に山林課の作製を終りて龍山印刷局に廻付中なるが非常に緻密なるものなるを以て銅版の製作に時日を要し印刷終了は多分本年末なるべしと云ふ

●仁川倶樂部の例會

第八回仁川倶樂部例會は十九日午後六時半倶樂部樓上に於て開會七時半より民團樓上に移り德富猪一郎氏の講演ある筈にて傍聽は何人にても隨意なり

●柴田總裁の消息

西韓視察中なる柴田拓殖局總裁は十七日午前平壤に向ひたる旨國分局長より通報あり

●檜垣長官の出張

檜垣京畿道長官は十七日田中技手を隨へ廣州なる授產場視察のため出張せり

●總督夫人の女學校觀察

寺內總督夫人及外波武官夫人、關屋學務局長、中山大佐各夫人の一行は今十七日午前九時官立京城高等女學校に於て開會の學友會に臨席し學藝及展覽品を一覽せり

●手塚報知記者

報知新聞記者手塚辯次郎氏は十七日入京旭町不知火旅館に投宿せり

●中山所長の歸省

中山京城地方裁判所長は嚴父病氣の爲め十八日午前九時出發東京に歸省

●近藤博士の出發

工學博士近藤虎五郎氏は十七日午前九時南大門發歸東の途に就きたり

●上林局長の歸期

上林專賣局長は歸省中なりしが十九日頃歸任すべしと云ふ

●平壤の貿易額

本月一日より十三日迄の平壤貿易額は輸移出二萬一[illegible]

▲仁川港の出入船舶▼

山東丸　十八日　神戸より入港

內地巡覽日記（九）

水浪生

五月十八日、午前八時奈良に向ふべく三笠館ホテルを出でた、時を同ふして同館を出たのが前夜パアラーで出逢つた三外人と他の一外人とである。國母陛下の奉迎準備に目を廻はし居る山田停車場を後にし、車中に落附き、津、龜山と過ぐる間同車の外人と語を交へ果ては名乘りを上げて見ると、如何に四人中の一紳士は、米國オハイオ州クリーヴランド市の人にて名をヤング氏と云ひ、側に座せる氏の妻君こそ、京城は南大門外、セベランス病院の設立費寄附者セベランス氏の娘なるとのことが判つた。ヤング氏夫妻は余の京城人なることを知つてから、セベランス病院の現狀及び京城に於ける米人關係の教育事業等に就いて細々と尋ねた、余は余の知れるだけを答へた、スルト只に前記夫妻のみではなく、他の連れの二人までもが余の答話に就いて滿足の意を表した、ヤング氏曰く余等は現在世界漫遊の途にある、是より直ちに神戸に出て、某汽船に搭じて印度に行き、歸路支那本國及び滿洲を經て京城に出でん、京城に出でなば是非共貴下に再會の愉快を得たし、さらばサヨナラと奈良の停車場で別れた。▲余が南都に遊ぶは今度が入國目兄、イツ來て見ても神々敷且つ氣が晴々とするのが老杉神鹿に彩てる春日社の境內であるのだ。想起す、今より十年前、二名優市川左團次が其瀨町の明治座に於て自ら後藤又兵衛に扮し、又兵衛春日社參籠の場を演じた、其時の書割は余の知人なる洋畫大家故山本芳翠畫の手になつたもので、其見事なりしは言ふ迄もなく、聞して芳翠君は此書割を作るが爲に自ら續けて七夜春日社へ參籠したのであつた。舞臺の書割に見てさへ結構な春日社の境內、其境內を步し且つ石階を登れば兜遂るところ是れ神殿、イツもながらの萬綠林中紅一點、余をして只何となく昌德宮の台樓に似通る趣ありと思はしめた、史は傳ふ後藤又兵衛は太閤との義、黙を捨ける可らずとなし、關東の招を郤け大阪方に與みした、彼や大阪に投ずるの以前、秀賴の武運を斬らん爲め此社に參籠した。嗚呼三百餘年の昔天下我と壓する者は我頭上の笠を措いて何者もなしと豪語したる後藤又兵衛が來つて額きたる神殿は今余が額ける神前であるのだ、余冷血と雖も一種の感興を起すは素より當然の事だ。

▲茶袋▼

ドウモ儲からぬ、這麼な景氣が續いたらトテも浮む瀨がないとは、毎に此地に來てをる商人の口から洩れる嘆聲であるが、サテ其不景氣を喞つ當人の身に着けてをるものを見ると、驚いた絹布づくめといふ有樣、現角日本人は儲けあどいふ事ばかりに熱中し、貯へて之を善用するといふことを全く忘れて[illegible]にする傾向がある、これでは迚も世界の商戰場に立つて勝利を爭ふといふ資格はない▲そこになると追に獨逸商人は偉い、獨逸商品が世界の各地に普ねく行渡つてをるとは言ふ迄もないが特に彼等が外國に店舖を張るときは實に目覺しい程派手な遣方をする代り、彼等は之を堅實に維持することに努めつゝある、一家の經濟即ち衣食住の如きは質素儉約を旨とし貯へし金は凡て營業に注込むと云ふ風であるから成功するのも決して不思議でない▲徒らに不景氣を喞ち、一面生活上に冗費を拂ふことに頓着せぬ我日本商人は宜しく獨逸商人に學ぶべしである▲京城民團の稅金を滯納する者が多いのは要するに移住民の公德心が缺乏してをるからでもあらうが一面移住者に奢侈の風が增長し、自然生活費に追はれ納稅を怠る者も多いであらう、此等も亦研究の價なしとは言へまい

▲京城手形交換高▼

六月十七日　金高　一〇〇九、三九〇　枚數　四六二

…發展に就ては屢々報じたる如くなるが五月に入りて…の増加を來し目下…地在留の内地人戸數は四十二戸に上り在留民四十人に達し宿屋兼料理屋…愛屋等諸種營業殆んど備はらざるなく…る由なり尚は同地在留民の熱心出願せし郵便所も近々新設の運びに到るべし

●朝鮮之實業發行所變更 警務總監部より發行所變更の認可を受け京城大和町二丁目にて發行せりと

●釜山港 に於ける十三日迄の本月分…輸移出二萬一…九圓にして又金塊の輸移出二十五萬二千六百圓なりと云ふ

公人私人

▲岩瀬靜(大阪商業會議所會頭) 十六日入京巴城館 ▲村井眞雄(村井銀行員) 同上 ▲大久保雅彥(辯護士)十七日出發大坂

群山俄道中記

六月五日 山靈水神生

明け五更の空は明け初めて、草深き遠ち近ちの村々には、晩告ぐる鶏犬の聲一しきり、明け行く空の靜けさを破つて、膠橋堤の水面に塵も浮ばぬ湖水の面には、彌勒山の影が鮮かに映つて居る。

今日は六月五日である。

遐邇の寒村十戸の邑、只見る綠葉芳草の間、牧牛池塘を遶つて凉風に嘶けば金翻幽かに水を激つて天地閑寂、實に山上千年の平和は一發の爆聲に破られて、彌勒山を動かさんずる未曾有の盛典は先つこれからである。

味爽醍醐の響を喫し終つて一行は藤井組合長の好意により、開會前先づ膠橋堤の貯水工事を見るべく岩永技師長に導かれて溜邊に至る、第一閘門第二閘門溢流堰等の諸工事が滌めて外觀虛飾に避け實質を主とせる設計振りに於て經營者の用意の凡ならざるを立證し、斯くの如く偉大なる計畫には必ず伴隨すべき、中間の故障錯誤等の過失もなく、當初の期待と相違せず確實に工事の竣成を見たるは誠に偶然ならずと感ぜざるを得なかつた。

往いて石水門山の第一閘門に至れば、飛瀑澄塔岩脚を打つて白浪凝るの光景實に壯絶快絶、矢の如く迸ばしる水の早きにつけ、流域幾萬の人の子の喜びも思ひやられて、組合の偉大なる成功を祝しつゝ踵を返した、ふと見れば間人龍門の姿が見らぬ、傍人に問へば龍門夜來痢を病んで到所頻繁す即今其影を見ざるも亦此故なりといふ、佇立して待つてど久しけれども來らず、去らんとすれば松林に聲あり、顧れば龍門にして悄然として出で來る、龍門由來不羈狷介塵紙など用意する男にあらず茲に於てか彼か事後の始末に果して如何なる方法を用ひたるかは一行の疑問となる、會々耳語するものあり曰く蓋し閘門の水其用を辨せしならんと、此時龍門一行に加はる、余即ち駄句つて曰く。

閘門を訪問に來た龍門が
水門口で洗ふ肛門

衆拍手してこれを迎ふ。

顧れば貴登山上灌纓頻りに起つて翻々靄ふ、開會も間近しと式場に還れば、空前の盛典に壺騒して集る鮮人無慮五六千、萬山白衣の人を以て埋めたり。歩して山上の式場に至れば酒風颯々として衣袂を吹く處、脚下には膠橋堤の碧漲を望み、顔を廻せば一眸に萃る萬頃の青田、無字碑洞庭賓の裏にあるを忘れしむ。

午前十一時一發の爆聲に式は開かれ藤井組合長の肚裡より吐き來る莊重の辭は、雀上多く空靜に化し易き開會の式辭をして能く新なる感動を人に與へしめ、ついで中村農務課長以下官民十數名の祝辭了れば、茲に式場は撤せられ祝宴は擧げられたり、どりどりの餘興模擬店に主客の歡聲湧なるの時、余は式場を出で山麓に下つて青草の上に横はり、俯瞰すれば湖水鷄落状ふが如く漫々として千古の翠色を帶ぶ。

嗚呼斯の水を以て斯の土を潤ひ斯の土を以て斯の民を養ふ、眞に一人一家の私事にあらず、然も僅少の人費茲に此の偉大の功果を齎らすを見て、無量の感慨に堪へざる折から、餘興場裡心なき歌妓の今しも起つて。

ぜんぜーぜんぜとエー鳴る潮はぜこよー…臨登水利のエーソレ木の音

風のまにまに或は高く或は低く、疏鑿これに和して山上に擧るの時、數千の鮮人も亦至心の相通ずるものあるか、手を擧げ足の踏む處を知らざる如く、雀躍これに関するさまを眼前に見て、余はいひ知れぬ熱き涙の自ら我が眼を傳ふを禁じ得なかつた。

可愛い男は御用

▽清月樓玉喜の歎嘆

當出しは少々薔闊に過ぎるが故きを温ねて新しきを知る次第なれば我慢して讀んで下されたし去る四月十四日午後九時頃新町遊廓清月樓の玄關へガラガラッと人力車を横づけにし格子戸も威勢よくトンく登樓に及んだるは上から下まで木綿ものは積み鼻禪だけりウッとした扮裝、金時計に金指輪、鷹揚な身の動作に一廉の紳士どころは見られた、が同樓にての愛嬌妓玉喜を名指して遊興振りも臭からず淡泊やつて座敷も退けての寢物語りに身の上話し僕は旭町に住む土木建築請負業の岡本松太郎と云ふものなるが未だ無妻なれば前さへ否でなくば落籍の上女房とすべしとの事に「否ちなやいワ、好きよ、好きよ」と玉喜大喜びに萬事の相談も成り立ち其の夜は小使錢にとて五圓札を一枚投げ出し其の後三四回登樓せし限り一向便りがないので玉喜は大いに心配して居たが其の客人てふ岡本松太郎とは浮世を忍ぶ假の名一皮剝けば其の實は愛知生れの羽生松太郎と云ふ前科三犯の白浪男京城にて金員を借し得んとて恐喝的に遊客を招待して其の客を騙取し其の後六月二日頃ツェノは黄金町居住梅谷知拾なる者に落籍されしを憤慨して自分と夫婦約束せしに他人の妻になりしは不都合なりと恐喝して金四十圓を騙取し其他數回にツェノの親元より…の手紙を僞造し使し或は惡辣なる手段にて金員數十圓を騙取したる事南部署岸長野刑事に探知され目下司法係りにて取調中



壽座に於ける片岡松之介一座初日の演し物

●意氣地なしの標本 大分縣北海部郡佐賀關村當時大和町一丁目二百二十七番戸無職荻本三七(三七)は本年二月頃より大和町一丁目料理店大和亭酌婦堀ツェノに馴染み關係せしを奇貨とし自分は他人の金を横領して目下直ちに支拂はざれば告訴せらる位置に立ち居るを以て直ちに返還す可け…

●近海を荒せし賊 仁川 仁川近海にては昨年春以來海賊の出沒甚だしく被害頻々たる事は巳報の通りなるが仁川署にては鋭意賊徒の逮捕に務めし結果去二月兩名を越へて四月中旬龍山漢江附近にて賊の首魁表宗孝を捕へしより捜査の端緒を得龍山署にて遂に其餘黨悉く五名を捕縛したるに累者五名を捕縛したるに被害續き居りしが本月二日仁川署の刑事搜索中なれば玉喜の身受も當分は駄目なるべし

●龜岸の菖蒲見會 本町四丁目和洋食料品雑貨商龜屋號進辰馬氏は十八日午前七時より午後六時迄に於て當東四軒町百花園へ華客及び知人等を招待して菖蒲見會を催すべく夫れ〳〵招待状を發したり當日園内にてはビヤホール、茶菓の用意等ありと云ふ

●八雲會例會 第五十三回例會は來る二十五日午十二時半より當地壽町有明樓にて開催の筈にて番組左の如し 加茂 見島、ッ河合、中西 熊阪(小泉) 羅島 熊野(境、ッ島田、杉寺 錦木 長谷川、ッ秋山、毛利、天鼓(安西、高木(

●汝も又學を好むか 北部稲善坊宮洞明容駿(二〇)は十六日午後八時三十分頃本町二丁目日韓書房に至り書籍を購求する風を裝ひ書籍數冊を窃取せしを南部署に突き出され取調中

●豆腐賣子兼泥棒 龍山山下町横田豆腐商店行商人牛尾吉三郎(十九)は六月十六日青坡町木原ツノ方不在に乘じ忍入り金指環一個女袷一枚(代三十餘圓)を窃取し龍山某質店に入質せしを西部署酒井刑事に探知され尚は餘罪ある見込にて取調中

●二人掛つて一足 海州東門內趙洞二十統一戸李鶴秀(一九)同洞七統一戸張徳仁(一九)の二名共謀し旭町一丁目飲食店千島方雇人崔桂俊の靴を窃取せしより南部署に引致され取調中

●仁川松峴洞の出火 昨十七日午前零時十分頃仁川府多所面松峴洞六統一戸新商高寨吉方より出火同一時半鎭火せしが出火の原因は不明目下取調中なるが損失損害高合計三百九十圓餘なりと

●局員の拐逃 南部薬洞宮内井五統六戸李雄義は鎮川郵便局に雇れ中爲替券七十五圓を窃取逃亡せしが此の頃北部署刑事に捕れ取調中

日曜集會

●メソヂスト教會(旭町二丁目) 同教會にては十八日午前十時より藤岡牧師の禮拜說教「教會論」午後八時より讚美歌練習、同八時半より藤岡牧師の傳道說教「賢愚の辯」あり

●日本基督教會(旭町四丁目) 同教會にては午前九時より日曜學校同十時より秋月牧師の禮拜說教あり午後八時よりは同牧師の傳道說教ありと

●微笑會 十八日午前十時(當日に限り)より初音町二丁目臨濟寺に於て開山太嶺禪師の無意識論提唱あり

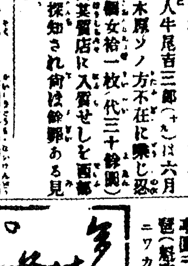
●不二會例會 若草町曹洞宗兩大本山別院內不二會にては是れまで十時なりしも十八日より前九時より田中進圓老師の無門關及般若心經」提唱ある由

●演藝だより

●大歌舞伎片岡松之助來る 三府大番附に依る片岡松之助(千圓)中村千鶴(九百九十圓)片岡右衛門(九百九十圓)等の諸優を始め七十餘名の大歌舞伎一座は愈十九日乘込み二十日町廻二十日初日として壽座に於て花々しく開演の筈なれば定めし好劇家の喝采を博すべし因に今回は京城演劇組合興行部組織第一回の興行なれば諸事注意し觀客を滿足せしむる由

●歌舞伎座 立志團十八日の代狂言は「己ヶ罪」後編全八場なりと

●浪花館 久しく休場中りしな同館にては今回東京大阪合併の賑かい所を呼び下して十八日夜より花々敷開演すべし其の顏觸れは左の如し 落語(桂枝輔)滑元、浮世節(柳家枝…



京城 藝妓の半生(卅七) 清華亭 三太(一)

吉)手踊(桂枝三郎)ほんの曲藝、笑福亭圓三(…)音曲落語(柳亭芝鶴)筑前琵琶(…)落語(大阪柳文)音曲一人ニワカ 英人ジョンベール)

京城に於ける藝妓らしい藝妓の随一人たるさよ壽の婆ア清華亭の三太が半生を紹介する御信心の向は近う寄つて線を献じられましよう、皆様御承知の通りれ婆さんは籍を清華亭に置いて居るが大抵は大和町のきよ壽の帳場に眼張つて鼈甲羅宇の長煙管に國分を詰めてスパリ〳〵と行つて居る所何にして年配が年配だから好い婆ア……チャない好い女將振りである、清華亭ときよ壽の關係は本支店の間柄にあつて三太姐さんは支配人と云ふ格で居るのだ、生れは東京牛込區神樂坂林様のれ臺所だらうなんて古い半疊を入れる可らず少々挨が御臭いから、本名は矢崎すゑと申す皆様が婆ア婆アと仰云るけれど實は本年恰度三十の年増盛り、惜しいもんだなアーアンとアゴを撫て口惜しがつて居る人が澤山あらうと云ふのです婆さん扱ひにされて燻るもんですかよ馬鹿らしい、ど婆……チャアない姐さん大氣焰である、實家は三太が實の妹元花月に居たぽん太が年期滿け後一寸明治町で長唄の師匠をして居たのが、歸京に及んで實母と共に神樂坂の新中武藏の軒燈の蝋を太らして居るから殘願の夢ひなるものがない、三太彼れは生粹の江戸ツ兒たると同時に又混りつ氣のない藝妓氣質を持つて居る、と云ふのは彼れの家は彼れの生れた時から既に藝妓屋であつたのだ、母が乳の子守歌は松の鶴龜であつた、甞試の夢を破られるは抱へ妓が手慣らしのスガガキの音であつた、三歳にして既にカッポレステヽコに稍しく五歳にして振りを淺草田町に居た故人花柳壽輔の門に入つたと同時に下方——れ囃子は淺草千束町の梅彌に就て太鼓小鼓とを習ふた長唄は正式に師匠を取つたのは十二歳の時神田の松永鐵四郎の門に入つたが十五の年に彌之壽に代つて二十二迄習つて居たが不幸にして彌之壽が病死したので今度は四ッ谷の杵屋喜三郎に就いて習つた夫れから當地では例の長唄嗜好會が呼び寄せた芳村伊三郎に就きて研究の結果伊三郎から杵屋伊壽惠の名を許されたのだ、以上は彼れが今日に至る迄の藝歷である、彼れ自身が藝妓生活に入つたのは十一の時で日本橋は數寄屋町の大坂家から一本と名乘つて半玉で出てより十八歳の秋まで其家で稼いて居たのだが取れと勸められる客が同うも好かん人なので厭氣が起り遂々赤阪の日の出家に住み替へて三代吉と名乘つて出た、三太日く、「貴君は婆ア婆アと仰云るけど初めから婆アおやなかつたかられ氣の毒樣ですね。妾が日の出家から出るとソリャ蟲負にして下さる方が多かつたものよ、ウヘン」と誰れやら曰く「梅干の泣言」と、閑話休題、彼れが云ふが如く實際三代吉としての彼れは賣れたものであつた内にも取り分け双方から逆上合つたのか當時早稻田大學在學中なりし野田男爵(裕通氏の息)であつたが遂に十九の春落籍されたのである(續く)

廣告



歐米各國自轉車各種
ヴイクター會社蓄音機械
銀製品各種
直輸入元
京城本町四丁目 織居本店
時計部專用電話(…)
寫眞部專用 仝(…)
根賛館金口座(…)
仝 二丁目 織居自轉車店 電話(…)

入院 隨意
內外科
小兒科
梅毒淋病
京城黄金町三丁目 高井醫院 電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

內科小兒科
診察時間(自午前九時 至午後二時)
京城明治町三丁目
醫學士 村上龍藏 電話六一三番

唯一の職務相談所 下男下女取扱
男女 高等人事相談所
かしや一所 たずねまはらずすぐしれる
京城旭町二丁目(府廳横手東へ入)
各新聞雜誌廣告取扱所主 松井暉彥

京城居留民團規則
第十一號
京城居留民團立高等女學校補習科授業料徵收規則左ノ通リ居留民會ノ議決ヲ經京畿道長官ノ認可ヲ得タリ
明治四十四年六月十六日
京城居留民團民長 古城菅堂
京城居留民團立高等女學校補習科授業料徵收規則
高等女學校補習科授業料ハ一人一ヶ月二圓五十錢ト定メ現行高等女學校授業料徵收規則ヲ適用シ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

生徒募集
京城居留民團立 高等女學校
本校補習科生徒若干名ヲ募集ス入學志願者(高等女學校ヲ卒業シタルモノニ限ル)ハ入學願書ニ履歴書ヲ添ヘ六月二十五日迄ニ本校ニ差出スベシ
明治四十四年六月

溫陽溫泉

六月十七日 金 一〇〇〇九、三九〇 高 枚數 四大二